

1. 科目名 (単位数)	政治学 (国際政治を含む) (2 単位)	3. 科目番号	GELA1339 GELA1318
2. 授業担当教員	小野 智一		
4. 授業形態	講義、グループ討議	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「国際関係論」を履修予定の学生は本科目を選択することが望ましい。本科目の履修によって左記科目の学習を充実させることができます。		
7. 講義概要	景気対策、規制緩和、地域主権、社会保障、雇用問題など「政治」の場で議論される諸問題はマスメディア報道などを通して日々われわれの耳に入ってくる。わたしたちは、住みやすい社会をつくり、市民の生活水準の向上を図るための機能を「政治」と呼んでいる。本科目では政治学の基礎的な概念を理解し、歴史的事象、時事問題を事例として政治の仕組みについて考えていく。		
8. 学習目標	1) 政治学の基本概念について理解し、説明できる。 2) 現代社会を政治学の観点から見たり考えたりすることができる。 3) 具体的な公共政策を事例として当否の検討などをとおして政治参加に必要な意思決定ができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	講義では上記をリーディングアサインメント (RA) と称して事前・事後学習課題を作成し、配付します。授業内で解説することになりますが、事前に教科書を読んで課題を解答してください。なお、解説後は事後学習のうちに教員に提出することとします。提出方法については授業内で案内します。また、講義配当時間の関係上、テキスト掲載のすべての章を取り扱うことはできないので、今回対象外とする章については以下に示す課題例を参考に各自で読み進めるようにしてください。各回に関連ある内容の章を紹介し、課題例はその都度補足します。 課題例： ①官僚と政治家どちらが信用できるのか。(第9章) ②戦前と戦後。日本をめぐる国際環境はどのように変わったのか。(第10章) ③「外圧」によって国内の仕組みが変わった？(第11章) ④環境問題の解決はなぜ難しいのか。(第12章) ⑤汚職に手を染めるものの経済発展を実現できる政治家と、清廉潔白で人間的に優れているが経済運営が下手な政治家。どちらが望まれるか。 ⑥若者は政治に無関心か？		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 北山俊哉・真淵勝・久米郁男『はじめて出会う政治学 構造改革の向こうに』有斐閣アルマ、2009年。 (以下、シラバス内ではこの文献をテキストと呼称する。) 【参考書】 1) 久米郁男・川出良枝・古城佳子他『政治学』有斐閣、2011年補訂。 政治学的全領域をカバーする教科書を目指して編集された本書は、おおよその政治的トピックについては参照することが可能です。しかも日本の政治の動きをベースとして政治学概念を説明しており、日本の読者にとって理解しやすい記述をしてあることも特色です。教科書のレベルを卒業した学生向きです。 2) 砂原・稗田・多湖『政治学の第一歩』有斐閣、2015年。 3) 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 4) 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1)政治学の基本概念について理解し、説明できる。 2)現代社会を政治学の観点から見たり考えたりすることができる。 3)具体的な公共政策を事例として当否の検討などをとおして政治参加に必要な意思決定ができる。 ○評定の方法 成績評価の規準1)～3)についての達成度を以下の方法により評価する。 ・各受講生の参加意欲・態度 (課題の提出状況も含む) について総合的に評価する。(30%) ・各受講生の授業での発言・共同作業 (ディスカッションなど) の実態等から総合的に評価する。(30%) ・各受講生の知識理解や思考の深まりについて、試験・レポートから評価する。(40%) なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	本科目では、こうしている間にも刻々と変化する社会を「政治」という視点から考えるものです。よって時にはテキストに書かれていないトピックが私たちの前に立ちまはることがあります。そのため、シラバスの授業内容に無いトピックで、学生側からの希望があれば、内容を確認し、受講者とともに審議したうえで授業内容として取り上げるようにしていきます。「政治学」について関心あるテーマがあれば授業時に提案してください。 本科目では、受講生に期待される学習態度として、以下の条件を設定しています。 ①授業に集中してください。(積極的に参加、質問し、課題を残さないこと。私語・居眠りの厳禁) ②欠席、遅刻、早退については、事由を教員に書面をもって報告してください。(事後に提出してください。事前は口頭報告するようにしてください) 正当な理由であっても、必要な時間数に不足する場合は、不合格となります。 ③明らかに受講態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行います。指導後も受講態度の改善が見られないと判断された場合、課題提出状況の如何に関わらず単位の修得は認めません。 ④教員による解説中は携帯電話の電源を切ってください。電子辞書等の学習支援機器は授業内容に応じて使用の許可を出すこととします。 また、教員は次のことを実行します。 ①授業の目的・目標を明確に示し、授業の進行はシラバスに沿って行います。 ②受講生全員に聞こえる大きさの声で話をします。また、専門用語はわかりやすく説明します。 ③一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加(発言・発表等)できる双方向対話型の学習環境を作ります。 ④遅刻・早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話(メール・通話)の使用その他、授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処します。 本科目では、基礎的な学習習慣づくりにも取り組みます。講義時間内で作業指示がなされたときなどに他者の学習を阻害する行為をした場合は減点対象とします。受講生各自が社会人として自立成長しようという自覚を持って講義に参加することを期待します。		

13. オフィスアワー	講義前後の時間もしくはe-mailにて対応します。toono@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション(シラバスを必ず持参すること。コピーでも可。) 政治学のテーマである「権力」について考察する。権力を行使する主体は何か、誰が権力を行使すべきか、権力の行使がなぜ認められるのかを考察する。	事前学習	テキスト pp. 239-246. に紹介されている用語についてよく知っているもの、聞いたことがあるが詳細を知らないもの、初見のものと同分類する。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のアサインメント(課題)に取り組む。
第2回	組織化された集団(鉄の三角同盟、フリーライダー)利益集団が組織されるのはなぜか。鉄の三角同盟、多元的民主主義の観点から考える。 いじめ問題など身近な事例で集合行為問題について考える。	事前学習	(第2回から第15回の事前学習) 前時間に配付するアサインメントの各設題に自分なりの解答をする。 ①なぜ特定の業界の利益が「政治」に守られるのだろうか。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第3回	官と民の関係①(市場の失敗) 市場の失敗の観点から政府の役割について考える。	事前学習	②市場の失敗を解決するためには何が必要か?
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第4回	官と民の関係②(政府の失敗) 政府の失敗を通して政府の限界について考察する。	事前学習	③どうすれば政府の失敗をなくすことができるのか。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第5回	大企業と政治①(規制、資本主義、経済団体、圧力団体) 大企業の行動を事例として影響力資源について考える。	事前学習	④企業はなぜ政権与党に政治献金をするのだろうか。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第6回	大企業と政治②(規制、資本主義、経済団体、圧力団体) 政策決定に影響力を及ぼすものは何かを考える。	事前学習	⑤何が影響力資源となるのか。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第7回	選挙と政治①(選挙制度) 政策投票をめぐる問題を中心に選挙について考察する。	事前学習	⑥政策で投票する議員候補を選ぶのはどうして難しいのだろうか。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第8回	選挙と政治②(政党の機能) 選挙制度の違いによって実現される世論はどう異なるのかを考える。	事前学習	⑦政党の選挙での役割は何か。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第9回	地方分権①(国と地方との関係、基礎自治体と市町村合併) 日本における地方自治のあり方を考える。 ※学外見学が可能な場合は「地方自治と教育行政」に内容を差し替えて実施	事前学習	⑧日本における中央政府と地方の関係を説明しなさい。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第10回	地方分権②(国と地方との関係、基礎自治体と市町村合併) 革新知事、革新市長はなぜ誕生したのかについて考える。	事前学習	⑨地方政府の首長の役割とは。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。

第11回	マスメディアと政治について考える①（第4の権力） 第4の権力とは何を意味するのか考える。	事前学習	⑩テレビやラジオが法律で中立性を求められるのはなぜか。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第12回	マスメディアと政治について考える②（政治過程への影響） 政策実現過程におけるマスメディアの役割について考察する。	事前学習	⑪マスメディアの影響力は強いのか、弱いのか。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第13回	国会①（政治過程） 議院内閣制のもとでの国会の影響力について考える。	事前学習	⑫野党の国会戦術とは。国会のルールについて知ろう。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第14回	国会②（立法） 日本を事例として国会で審議される法案を手掛かりに考察する。	事前学習	⑬日本とイギリス・アメリカの国会（立法）の特徴を指摘してみよう。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
第15回	内閣と総理大臣（議院内閣制、大統領制、行政1） 日本の内閣総理大臣とアメリカの大統領。 どちらがよりリーダーシップを行使できるのか考える。 リーダーシップを発揮するための条件に付いて考える。	事前学習	⑭総理大臣が短命（任期満了以前に早期退陣）なのはよくないことなのか。 pp. 239-246. に紹介されている用語についてどれだけ理解が進んだのか確認する。
		事後学習	講義内で配付される振り返り資料を基に本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。残された課題について質問事項としてまとめ次時以降に教師より指導を受ける。
期末試験			